

今年度4月に、水呑小学校長として赴任してまいりました橋本秀基です。地域・保護者の皆様には、日頃より本校教育に、ご理解とご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

新年度が始まって1か月。落ち着いて生き生きと学ぶ姿、元気よく運動場で友達と遊ぶ姿など本来の学校生活の様子が見られるようになってきました。

福山市では、子ども達に、変化の激しい社会をたくましく生きる力をつけるために、「福山100NEN教育」として、「子ども主体の学びづくり」に取り組んでおり、今年度はその9年目を迎えます。

この間、水呑小学校でも、学力テスト等からの子どもたち学力課題を分析しつつ、子どもたちが、その課題を克服するために、生き生きと学びにトライし続けることを目指して取り組んできました。今後も、これまでの取り組みの成果や課題を基盤に、子どもたちに確かな力をつけられるよう全職員で取り組んでまいります。

取り組みの中心は、学びづくり、授業です。今年度は、次のような3つの授業を目指していきます。

「子どもが、教材にドキドキ・ワクワクする授業」

「子どもが、仲間と語り合いながら、答えを見つけようとする授業」

「子どもたちが、自信をもって、自分の思いや考えを、書いたり発表したりしている授業」

こうした授業の中で見つけた、子ども達の日々の成長をしっかり受け止め、褒め励ましていきたいと思っております。

しかし、授業だけでは子どもたちは成長できません。子どもたちの成長には、

「教師にしかできないこと。親にしかできないこと。」

「教師がやらなければいけないこと。親がやらなければいけないこと。」

それぞれの果たすべきことがあります。だからこそ、我々は、常に地域・保護者のみなさんと一緒に子どもたちのことを考えていきたいと思っています。

どうか、子どもたちが大きな成長を遂げる1年となるよう、引き続き、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。



2024年（令和6年）5月

福山市立水呑小学校長 橋本 秀基